

福島県沿岸における 2020 年のヒラメ稚魚個体数密度

福島県水産資源研究所 種苗研究部

1 部門名

水産業－資源管理－ヒラメ

2 担当者名

平川直人

3 要旨

ヒラメ資源動向を早期に把握し、適正な資源管理を行うには、ヒラメ新規加入状況の把握が必要である。このため、調査船拓水によりソリネット用いた新規加入量調査を行い、2020 年度のヒラメ稚魚加入時期と個体数密度を把握した。その結果、個体数密度は 8,9 月が高く、10 月に低下した。また、2018 年度以降、個体数密度は高い値で推移していた。

- (1) 2020 年度に採捕された全長 150mm 以下のヒラメ稚魚個体数は 180 個体、個体数密度は 4.6 個体/1000 m²であった(表 1)。
- (2) 各調査地点とも、ヒラメ稚魚個体数密度は 8~9 月に高く、10 月は低かった。
- (3) 2009~2019 年度に実施した同様の調査におけるヒラメ稚魚個体数密度は、0.2~14.4 個体/1000 m²であり、中央値は 1.3 個体/1000 m²であった(図 1)。2018 年以降、ヒラメ稚魚個体数密度は高い値で推移していた。

表 1 ヒラメ新規加入量調査における採捕個体数と密度

調査地点	年月日	曳網回数	曳網面積(m ²)	採捕個体数	密度(個体/1000m ²)
磯部	2020/8/7	2	3,112	5	1.6
	2020/8/28	2	3,261	50	15.3
	2020/9/7	2	3,412	15	4.4
	2020/10/21	2	3,076	1	0.3
新舞子	2020/8/6	2	3,523	5	1.4
	2020/8/26	2	3,471	10	2.9
	2020/9/17	2	2,334	19	8.1
	2020/10/26	2	3,415	0	0.0
菊多浦	2020/8/5	2	3,266	41	12.6
	2020/8/27	2	3,467	22	6.3
	2020/9/17	2	3,432	12	3.5
	2020/10/27	2	3,456	0	0.0
計		24	39,224	180	4.6

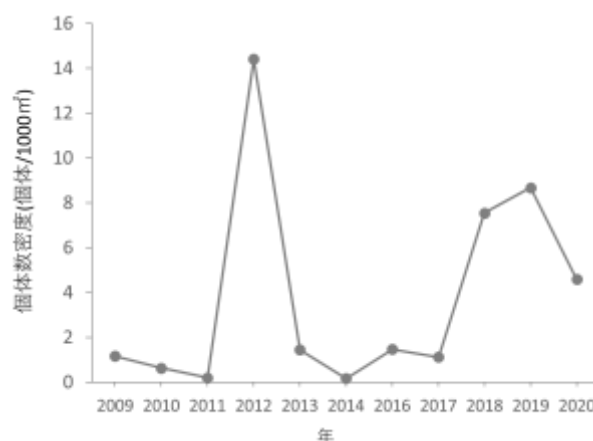


図 1 2009~2020 年ヒラメ新規加入量調査におけるヒラメ稚魚個体数密度

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 14 年度～令和 2 年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

5 主な参考文献・資料

- (1) 東北海域におけるヒラメ新規加入量調査結果, 富樫博幸, 櫻井慎大, 木所英昭, 和田由香, 森友彦, 金戸悠梨子, 實松敦之, 松井俊幸, 東北底魚研究(39), 140-144, 2019